筑波學生新聞

発行所
筑波大学学生新聞会
編集代表
沼田信行
〒305 新治郡桜村天久保
3-9-5オオキビル3F
TEL 0298(52)4460
振替　宇都宮6－31450
月刊　定価100円

大蔵省主催第15回品評会
全国第一位受賞
日本名門酒会員
娘
ヒトリムスメ
㈱山中酒造店
代表取締役 山中直次郎
結城郡石下町新石下187
☎029742-2004

「継続は力」なり

『週刊朝日』の人気ページ「デキゴトロジー」といえば、読者の中にもそのファンは多いだろう。9年前からこのページを担当し、デキゴトロジストとして、この言わば「現代の今昔物語」の取材に活躍してきた週刊朝日委嘱記者の森下典子さんが、このほどその体験を1冊の本にまとめた。『典奴どすえ』（朝日新聞社）がそれである。マスコミに憧れる学生は多く、華やかなイメージを持たれているが、その"裏稼業の真実"について、また、取材を通じて知った企業社会の内幕について、森下さんに語っていただいた。

的を見れば矢は当る

やりたい仕事を願い続けること

冷やかしで会社を受けちゃいけない

森下典子

もりしたのりこ　一九五六年横浜市生まれ。七九年日本女子大学国文学部卒業。卒業直前の同年一月から、「週刊朝日」のデキゴトロジー」のフルレギュラーとして活躍。目下とりくんでいる同じ月刊誌に掲載されているものの書き方に「典奴どすえ」は十一月に書籍「典奴どすえ」は十一月に発売されている。若者の感覚を持っている。TBSでTVドラマ化が決定している。

――森下さん自身が学生のときの就職活動について伺えていただけますか。

当時はキャリア・ウーマンという言葉がはやりのころで、女の子の間では出版社に勤めるのがすごい憧れだったけですよ。それは今でもそうなのかも知れませんけど。それでみんな「やりたい……」と思っていたんだ。正直言って私も憧れていたんですよ。でもマスコミ試験、今はもう無くなっちゃったけど（笑）、「取材」というような言葉を新聞で聞いて、実際には外の就職口も落ちて、時期的にも押してきて、どうしようか、というころ、近所の朝日新聞社に お勤めのお父さんが、「マスコミ興味あるなら、こんなイベントがあるけど」と紹介してくださったのが、「デキゴトロジー」なんです。

――実際に働き始めるにあたって、それまでマスコミに対して抱いていたイメージとのギャップなど感じませんでしたか。

ギャップどころか、最初のころは張り切ってバリバリやってましたよ。当時の朝日新聞社は、私も大人の人には現代風な珍しいネタをとって、その期待待ちで使ってくだけだし、また、マリオンのようにあったりしたりとかなんかで、それに対してそれてそれてそれて

入社案内ポール

多様化すす"む会社の顔

若者気質を受け入れ 時代の諸相を映す

各企業や就職情報会社から就職学生宛に届けて送られてくるパンフレット、雑誌類は膨大な数にのぼる。そもそも就職情報会社から送られる新聞学生の場合、積み上げると一年間にさ4メートル近くになるというわる。その中で、特に入社案内は、会社間の先駆けとなるこの数年、就職情報誌上での他の多数の企業から区別され、個別に届くこの頃。"初の挨拶"であり、生徒にとっては、志望動機の第一歩。会社の内外にPRする大事な、会社の顔。であるから、いうことで各会社とも、この数年、この中で実際に手にとって読む数はたかが知れていても、とっておくべき、という、会社の入社案内を読みなら始まる。編集になっている。

近年、この中で会社は、入社案内が実におもしろくなってきた。そこで今回は、この入社案内をレポートしてみた。（斎藤実美・都竹淳一記者）

まず言えることは多様化が進んでいることだ。ひと昔前までの入社案内といえば、A四判で表紙に社名、一ページめには社長の挨拶、それから組織図、先輩社員の略歴と続き、最後は福利厚生でしめくくられるというパターンが決まっていた。そして、それは封筒に入れられ、「封筒」、「表紙」、「ページ」、「封筒」、「表紙」、「ページ」、「封筒」、「表紙」、「ページ」

企業ルポ'87

時代を先取る 機敏な経営

立花証券

日経平均株価の三倍で、世界の三位となった。これは第一次大戦まの長期、その後の米国に次ぐ第四の三位である。同時に、日本はハイテクとソフト中心、カネ、財テク中心だった。その拡大のために、証券は「時代を先取り」という点に力を入れ、時代の流れにあった施策をかかってきたのである。今日の高収益体質をつくったのである。

日本は第一次大戦まの長期、その後の米国に次ぐ第四の三位である。同時に、日本はハイテクとソフト中心、カネ、財テク中心だった。これは第一次大戦まの長期、その後の米国に次ぐ第四の三位である。同時に、日本はハイテクとソフト中心、カネ、財テク中心だった。その拡大のために、証券は「時代を先取り」という点に力を入れ、時代の流れにあった施策をかかってきたのである。今日の高収益体質をつくったのである。

証券業はサービス業であり、顧客が生命である。その為に社会に出て力を発揮する機会を与えられる。特に、証券業は、「顧客第一」を合言葉に、顧客の為に、「顧客第一」を合言葉に、顧客の為に、「顧客第一」を合言葉に、顧客の為に

日本生命

世界最大の保険会社

総合生活サービス産業への脱皮をめざす。

金融業界ではここ二年間、デイレギュレーション（規制の緩和）が進展し、保険・銀行・証券（業務）が進展し、保険・銀行・証券（業務）が進展し、保険会社の保険機能の大きさが相乗効果を示すかりそのような状況の中、卓抜な増加した。これは損保出行、または大手銀行並みの規模である。知名度を高め、信用力を示すものとも言えよう。

日本生命は七万人のセールスマンを擁し、六一年度は、一兆円を超える資金量がある。

また、日本生命は金融業界の中にあって、銀行の無券とは異なった独自の道を切り開いてきたのである。おそらく唯一の金融機関であろう。それは強力な販売力と情報力に鍵がある。金融業界で第二位の住友生命は、六十五万人のセールスマンを擁しているのである。

日本生命は、保険業界の中で、資金量が増え続けている。また、日本生命は、以上の他にも、日本生命は、ビルの賃貸収入、金融再開発事業を進めている。同社は日本最大級の不動産会社として、生命の一つの部（不動産部）で専業の不動産会社に匹敵する。

これは、送損保、金融機関に先駆けて新しいビジネスを展開してきた日本生命、同社は最も多くのビジネスチャンスを秘めている産業に注目する。あらゆるタイプの人間を求めている。

日航グループ最高の技術者集団

ニューメディア部門にも進出

一九七八年、成田に新東国際空港が出来た年、テスコムは資本金三、五〇〇万円、三十四人の従業員によって設立された。日本航空株式会社（以下日航）の子会社という事で、日航の航空運賃割引の工事、保守、運営が主な事業である。情報処理と電送通信のサービス総合的に提供できる最先端の専門集団として、その将来性は非常に期待されている。そのため、日航グループにおいては、21世紀の切り札、という存在である。

その業務内容を細かく見てみると、システム設計からはじまり、各種ソフトウエアの販売、電送通信に関する通信設備の販売、情報通信機器、無線機、コンピュータ関連機器、コンピュータの設計や保守、工事、管理など多彩である。

その後のさまざまな発展に、テスコム・リース（株）、東京オーエー機器（株）などの子会社を持つようになった。テスコム・リースは、OA機器の事のリースの実績を誇り、東京オーエー機器は、OA機器の販売とソフト関係の営業を行っている。

このように大きな成長しているテスコムの秘訣は、業務内容の多様さにあるのである。

また、日航との関係上、世界各地に基地を置いている。ワールドワイドなネットワークの構ーカーの数も多い。そのため、現なったメーカーの機種どうしのインターフェイス等も行える。

また、他の航空会社では、使用する様々なメーカーの製品のメインテナンスを各メーカーに依頼しているのに対し、日航で、若い人達の活力によりますからね。そう、まず「やる気」でしょうね。これを持ってない人は駄目ですね。」

新しい分野への進出も積極的だ。一九八五年に設置された技術研究所では、電送通信機器の開発を中心に、無線機や端末の開発を行っている。

なお、VANやINS、RANといったニューメディアなど将来は技術的にも、規模的にも、ますます大きくなる物。

新宿高層ビル街の中心ときき、誰でもが、安田火災海上保険会社を思い浮かべるであろう。

安田火災は創業、六代、海上、傷害、賠償責任などあらゆる保険商品を手がけている。その中でも自動車保険については目をの前身として、昭和十九年二本のモータリゼーションの流れを一早く見抜いの、昭和三十八年に、「三世紀へ向けて、五十八年度より「三ユーセンチュリープロジェクト」

安田火災

害保険業界のパイオニアとして、日夜、活躍している。

安田火災は創業、六代、海上、傷害、賠償責任などあらゆる保険商品を手がけている。その中でも自動車保険については目をの前身として、昭和十九年二本のモータリゼーションの流れを一早く見抜いの、昭和三十八年に、「三世紀へ向けて、五十八年度より「三ユーセンチュリープロジェクト」

創業百周年に向けて

五大プロジェクトを展開

アリムラ技研

世界初のICカード

基本特許を持つ

アリムラ技研は、神奈川県の茅ケ崎市本社を持ち、ここで生産されている。それは、大都会東京の特徴を図っている。

日本生命は日本最大の機関投資家、もちろん、保有株式数億株は、全上場株式の約3・5%、筆頭株主である企業が六八八社、十位以内の大株主になっている。企業が七百五十三社あり、金上位株主である。

これらの特徴になるのは、十五兆を超える総資産である。保険の裏に隠された、保険業界の裏に隠されるもの、保険入社後の勤続年数は、三十年に、一人前の社員になるもの、保険加入は